

株主の皆様へ

第52期 事業報告書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)



株式会社 理研グリーン

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社は、平成20年3月31日をもって、第52期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

(1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度における我が国経済は、原油・原材料価格の高騰に加え、当期の後半にかけて、サブプライムローン問題に伴う世界経済や国際金融市場の不確実性の影響等により、減速傾向に直面し、流動的な状況のうちに推移しました。

このような経済情勢のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、ゴルフ場業界、製紙業界共に企業の再編、コスト削減など経営の合理化が一段と進み、また公共工事も減少するなど、依然として厳しい状況下にありました。

このような事業環境のもと、当社グループは全事業にわたり主力商品の拡販、販路の開拓及び技術サービスに徹した営業活動を積極的に推進し、ゴルフ場等の総合メンテナンス受託などの事業分野の拡大を図り、連結業績の回復に努めましたが、大型緑化工事が大幅に減少しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は111億5千8百万円（前連結会計年度に比べ6億5千9百万円（5.6%）の減少）となりました。利益面につきましては、営業利益は資材価格等コストの上昇により2億3千5百万円（前連結会計年度に比べ6千6百万円（21.9%）の減少）、経常利益は2億4千7百万円（前連結会計年度に比べ2千1百万円（8.0%）の減少）となりましたが、当期純損益は持分法適用関連会社である日本メンテックス株式会社（高速道路保全工事会社）の連結上の投資有価証券評価損失を2億5百万円計上したため、誠に遺憾ではありますが1億7千4百万円の純損失（前連結会計年度は1億7百万円の純利益）となりました。

部門別の概況は、以下のとおりであります。

緑化関連薬剤・資材部門

主要需要先のゴルフ場業界は、大都市近郊では来場者数の増加傾向が見え始めましたが、全体としては更に厳しいコスト削減、コース管理予算の削減等、経営の合理化と共にゴルフ場のグループ化が進展しております。また、道路・鉄道・グラウンド等の緑地分野でも薬剤、その他資材の需要は回復の兆しが見えるものの、各企業間での販売競争は一段と激化し、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは主要除草剤「ウェイアップフロアブル」、[ダブルアップDG]、主要殺菌剤「エメラルドDG」、[セレンターフ顆粒水和剤]、新規殺菌剤「ベンコシャイン水和剤」及び抑草剤「ピオロックフロアブル」、[ショートキープ液剤]、芝用肥料「プロスペック」、[マックスチオイス]など各分野における主力商品の積極的拡販及び外資系などのグループゴルフ場に対する販路の開拓に努めると共に、ゴルフ場等の総合メンテナンス受託事業では、ユーザーの高い評価の下、受託コースの拡大に努めました。この結果、当部門の売上高は77億5千7百万円と前連結会計年度を1億3千7百万円（1.8%）上回りました。

産業用薬品部門

主要需要先の製紙業界は、原油、チップ、古紙などの原燃料価格の高騰により厳しい事業環境下にあり、業界全体としてコストの大幅削減、生産設備の新設や合理化、企業の再編、集約などが更に進展しました。

このような状況下、新製品の普及及び新規需要先の開拓に注力する一方、現場に密着したテクニカルサービス営業に努めました結果、殺菌剤、古紙リサイクル異物除去剤、家庭紙製造向け剥離・コーティング剤が伸長しました。この結果、当部門の売上高は16億1百万円と前連結会計年度を6千5百万円（4.3%）上回りました。

土木緑化工事部門

緑化工事業界は、公共事業を中心に発注件数の減少など依然として低迷しており、企業間の厳しい受注競争が続きました。

このような状況下、民間工事において、ゴルフ場関連改造工事の他、マンション等の植栽工事や維持管理の受注獲得などの懸命な営業活動に努めましたが、大型緑化工事の受注が大幅に減少しました。この結果、当部門の受注工事高は15億4千2百万円と前連結会計年度を3億2千8百万円（17.5%）下回りました。また完成工事高は14億4千4百万円と前連結会計年度を8億4千8百万円（37.0%）下回りましたが、繰越工事高は3億8千8百万円と前連結会計年度を9千7百万円（33.7%）上回りました。

その他部門

その他の事業部門は、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売事業などであり、当部門の売上高は3億5千4百万円と前連結会計年度を1千4百万円（4.0%）下回りました。

(2) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、原燃料価格の高騰・高止まり、米国経済の低迷、急激な為替の円高の進行などにより、我が国の景気の先行きは減速傾向が続くものと懸念されるなか、当社グループは全事業部門において、国内企業の再編や外資企業の販売体制の川下化の強まり、価格競争、公共工事の減少等に加え、企業間競争の激化など、依然として厳しい事業環境に直面するものと思われます。

理研グリーングループといたしましては、変化する事業環境下、名古屋地区における緑化関連薬剤・資材の販売会社として三栄商事株式会社を新たに子会社に加え、販売基盤を拡大しました。当社グループの総合力を一層強化結集し、更なる連結業績の回復・向上を最優先の課題として、持続的に利益ある成長ができる経営基盤の構築を進めてまいります。

そのため各部門において主力製品と自社独自品

による市場シェアの拡大を図る一方、当社グループと当社研究所の技術力を一層高めると共に、新製品の導入及び早期上市、製品の改良と差別化を図り、技術サービスに徹した積極的な営業活動を推進し、事業収益の拡大を図ります。

さらには、緑化関連薬剤・資材部門においてゴルフ場等総合メンテナンス受託事業の拡大とコースオリエティの維持向上に繋がる業務管理の充実に努め、福田工場の生産性の向上を図り、受託生産を一層拡充してまいります。

土木緑化工事部門では、公共事業の受注拡大努力を続ける一方、公園・校庭等の緑化工事やゴルフ場関連工事などの民間工事・大型緑化工事の受注拡大に取り組んでまいります。また固定経費などのコスト削減を徹底し事業収益の確保に努めます。

産業用薬品部門では、国内外のメーカーとの業務提携を一層強化し、日本の製紙メーカーの製造工程に適した差別化商品の拡販と新規薬剤の開発、普及による家庭紙及び紙・板紙分野への市場開拓に努めてまいります。

当社グループの企業理念「緑をつくり、育て、守る」ことをモットーに環境関連事業を多角的に展開し、企業価値の一層の向上を目指して引き続き努力してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上のような状況において平成21年3月期の業績につきましては、売上高115億円、経常利益3億円、当期純利益1億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

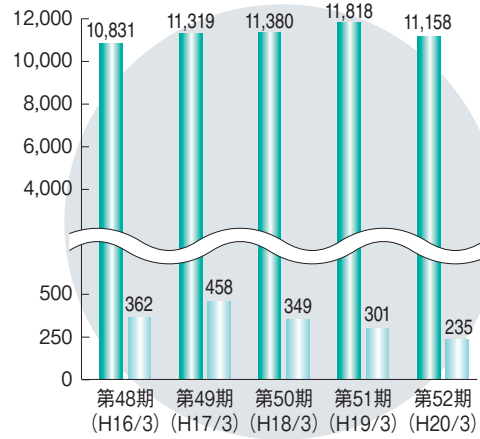


代表取締役社長 菊島 昭

連結財務ハイライト

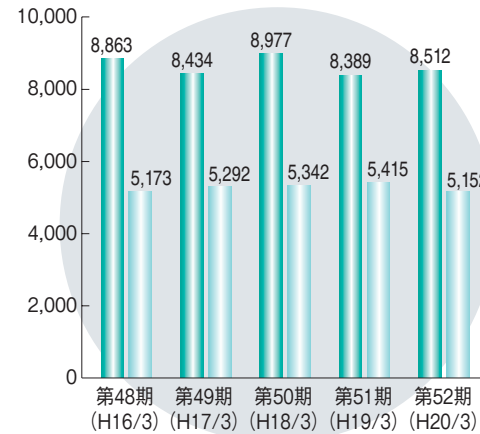
売上高
営業利益

(百万円)



総資産
純資産

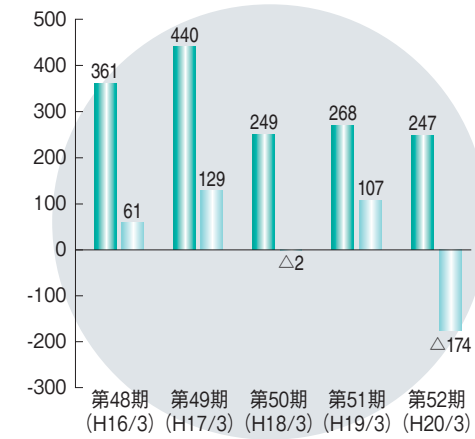
(百万円)



Consolidated Financial Highlights

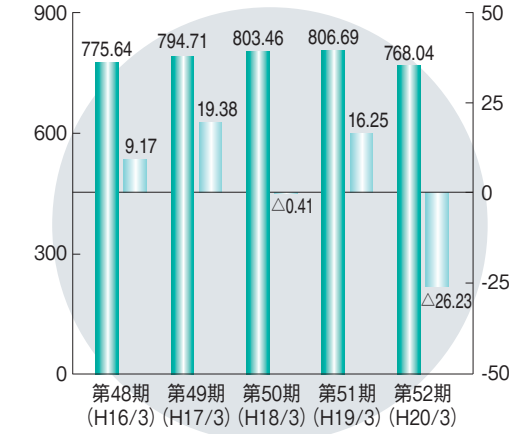
経常利益
当期純利益

(百万円)



一株当たり純資産額
一株当たり当期純利益

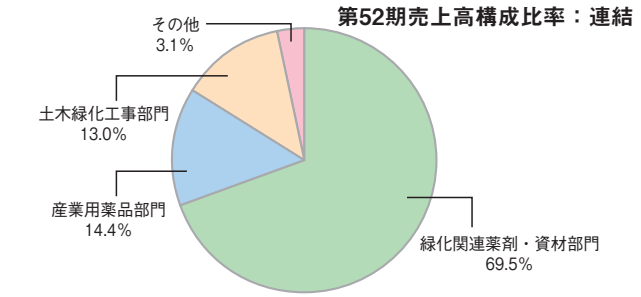
(円)



セグメント情報

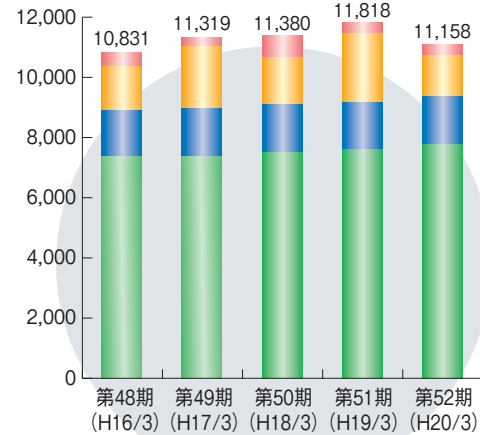
部門別売上高 (連結)

連結：部門別売上高 (百万円)	第48期 16年3月末	第49期 17年3月末	第50期 18年3月末	第51期 19年3月末	第52期 20年3月末
緑化関連薬剤・資材部門	7,368	7,376	7,513	7,619	7,757
産業用薬品部門	1,538	1,588	1,585	1,536	1,601
土木緑化工事部門	1,479	2,080	1,567	2,293	1,444
その他	445	274	713	369	354



部門別売上高の推移：連結

(百万円)

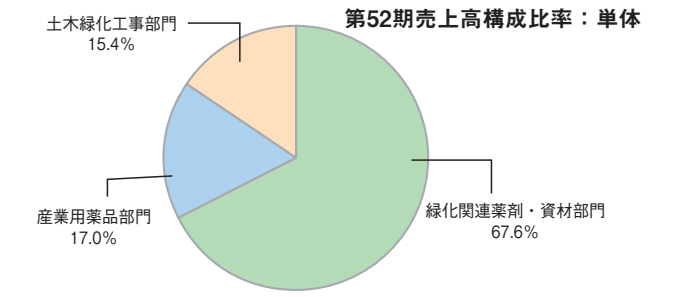


その他
土木緑化工事部門
産業用薬品部門
緑化関連薬剤・資材部門

Segment Information

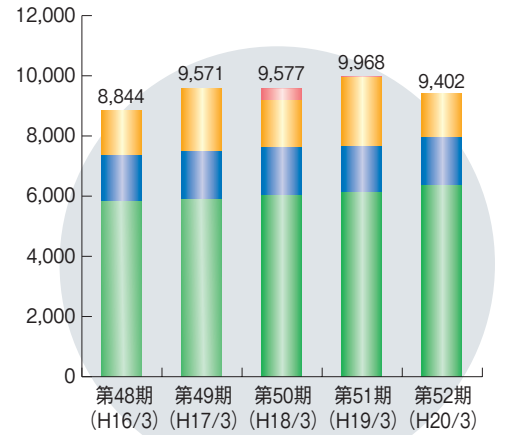
部門別売上高 (単体)

単体：部門別売上高 (百万円)	第48期 16年3月末	第49期 17年3月末	第50期 18年3月末	第51期 19年3月末	第52期 20年3月末
緑化関連薬剤・資材部門	5,826	5,903	6,026	6,122	6,355
産業用薬品部門	1,538	1,588	1,585	1,536	1,601
土木緑化工事部門	1,479	2,080	1,567	2,293	1,444
その他	—	—	397	16	—



部門別売上高の推移：単体

(百万円)



その他
土木緑化工事部門
産業用薬品部門
緑化関連薬剤・資材部門

●連結貸借対照表

科目	当期(第52期) 平成20年 3月31日現在	前期(第51期) 平成19年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,561,381	5,426,704
現金及び預金	963,847	882,375
受取手形及び売掛金	2,589,687	2,686,089
完成工事未収入金	447,849	399,622
たな卸資産	1,443,135	1,383,215
その他	116,861	75,402
固定資産	2,951,253	2,962,757
有形固定資産	1,603,739	1,358,764
建物及び構築物	239,173	196,706
土地	1,180,933	988,846
その他	183,633	173,211
無形固定資産	187,151	70,676
投資その他の資産	1,160,362	1,533,315
投資有価証券	374,137	862,014
繰延税金資産	310,069	214,017
その他	476,155	457,283
資産合計	8,512,634	8,389,462

単位：千円

科目	当期(第52期) 平成20年 3月31日現在	前期(第51期) 平成19年 3月31日現在
負債の部		
流動負債	2,582,023	2,373,950
支払手形及び買掛金	1,452,870	1,478,648
工事未払金	270,666	268,670
未払法人税等	221,947	83,498
その他	636,539	543,133
固定負債	777,979	600,124
退職給付引当金	400,630	355,931
役員退職引当金	118,117	112,579
その他	259,230	131,613
負債合計	3,360,002	2,974,075

純資産の部		
株主資本	5,043,366	5,251,954
資本金	1,102,428	1,102,428
資本剰余金	1,328,851	1,328,851
利益剰余金	2,626,897	2,834,161
自己株式	△14,810	△13,486
評価・換算差額等	52,556	104,184
その他有価証券評価差額金	52,556	104,184
少数株主持分	56,708	59,247
純資産合計	5,152,631	5,415,386
負債・純資産合計	8,512,634	8,389,462

単位：千円

●連結損益計算書

科目	当期(第52期) 平成19年 4月1日から平成20年 3月31日まで	前期(第51期) 平成18年 4月1日から平成19年 3月31日まで
売上高	11,158,505	11,818,431
売上原価	8,394,370	9,029,181
売上総利益	2,764,135	2,789,250
販売費及び一般管理費	2,528,318	2,487,301
営業利益	235,817	301,948
営業外収益	38,482	44,242
営業外費用	27,238	77,610
経常利益	247,061	268,580
特別利益	69,620	96,685
特別損失	232,861	21,032
税金等調整前当期純利益	83,820	344,233
法人税等	249,428	226,040
少数株主利益	8,456	10,227
当期純利益又は当期純損失(△)	△174,065	107,965

単位：千円

●連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期(第52期) 平成19年 4月1日から平成20年 3月31日まで	前期(第51期) 平成18年 4月1日から平成19年 3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,579	△11,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,389	△121,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,088	△319,683
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	131,100	△452,735
現金及び現金同等物の期首残高	831,746	1,284,481
現金及び現金同等物の期末残高	962,847	831,746

単位：千円

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

●連結株主資本等変動計算書 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	1,102,428	1,328,851	2,834,161	△13,486	5,251,954
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△33,198		△33,198
当期純損失			△174,065		△174,065
自己株式の取得				△1,323	△1,323
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△207,263	△1,323	△208,587
平成20年3月31日残高	1,102,428	1,328,851	2,626,897	△14,810	5,043,366

単位：千円

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	104,184	104,184	59,247	5,415,386
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△33,198
当期純損失				△174,065
自己株式の取得				△1,323
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）	△51,627	△51,627	△2,539	△54,167
連結会計年度中の変動額合計	△51,627	△51,627	△2,539	△262,754
平成20年3月31日残高	52,556	52,556	56,708	5,152,631

単位：千円

●単体貸借対照表

科目	当期(第52期)	前期(第51期)
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
資産の部		
流動資産	5,290,282	4,951,071
固定資産	2,261,812	2,426,647
有形固定資産	850,059	870,239
無形固定資産	14,861	30,037
投資その他の資産	1,396,890	1,526,370
資産合計	7,552,094	7,377,718
負債の部		
流動負債	1,984,701	1,951,128
固定負債	371,772	328,671
負債合計	2,356,474	2,279,799
純資産の部		
株主資本	5,160,190	5,038,699
資本金	1,102,428	1,102,428
資本剰余金	1,328,851	1,328,851
利益剰余金	2,748,469	2,625,654
自己株式	△19,558	△18,234
評価・換算差額等	35,429	59,219
その他有価証券評価差額金	35,429	59,219
純資産合計	5,195,620	5,097,919
負債・純資産合計	7,552,094	7,377,718

単位：千円

●単体損益計算書

科目	当期(第52期)	前期(第51期)
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	9,402,363	9,968,295
売上原価	7,475,672	8,045,076
売上総利益	1,926,690	1,923,219
販売費及び一般管理費	1,824,492	1,784,516
営業利益	102,197	138,702
営業外収益	39,243	41,152
営業外費用	4,263	16,649
経常利益	137,177	163,205
特別利益	203,640	2,350
特別損失	7,204	4,482
税引前当期純利益	333,612	161,073
法人税等	177,599	109,912
当期純利益	156,013	51,160

単位：千円

●単体株主資本等変動計算書 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

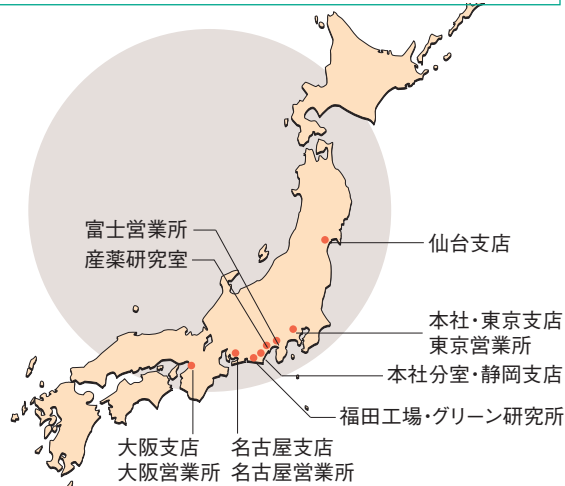
	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算差額等 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		研究開発積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						
平成19年3月31日残高	1,102,428	1,328,851	1,328,851	128,500	300,000	2,030,000	167,154	2,625,654	△18,234	5,038,699	59,219	59,219	5,097,919
事業年度中の変動額													
剰余金の配当								△33,198	△33,198	△33,198			△33,198
当期純利益								156,013	156,013	156,013			156,013
自己株式の取得									△1,323	△1,323			△1,323
別途積立金の積立						20,000	△20,000	—					—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）											△23,790	△23,790	△23,790
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	20,000	102,815	122,815	△1,323	121,491	△23,790	△23,790	97,700
平成20年3月31日残高	1,102,428	1,328,851	1,328,851	128,500	300,000	2,050,000	269,969	2,748,469	△19,558	5,160,190	35,429	35,429	5,195,620

単位：千円

会社の概要

(平成20年3月31日現在)

主な事業所



本 社	〒110-0005	東京都台東区上野二丁目12番20号 (NDKロータスビル) TEL (03) 3833-6321 (代表) FAX (03) 3833-6325
本 社 分 室	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原551番地 TEL (054) 283-5555 (代表) FAX (054) 284-1769
仙 台 支 店	〒980-0011	宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3番17号 (長田ビル) TEL (022) 222-9599 (代表) FAX (022) 267-6505
東 京 支 店	〒110-0005	東京都台東区上野二丁目12番20号 (NDKロータスビル) TEL (03) 3835-8134 (代表) FAX (03) 3835-8136
静 岡 支 店	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原551番地 TEL (054) 283-5555 (代表) FAX (054) 284-1769
名 古 屋 支 店	〒460-0011	愛知県名古屋市中区大須四丁目1番71号 (矢場町中駒ビル) TEL (052) 262-2861 (代表) FAX (052) 251-3495
大 阪 支 店	〒560-0082	大阪府豊中市新千里東町一丁目5番3号 (千里朝日阪急ビル) TEL (06) 6871-1691 (代表) FAX (06) 6871-1811
グリーン研究所	〒437-1218	静岡県磐田市南田伊兵衛新田859番地の1 TEL (0538) 58-1282 (代表) FAX (0538) 58-1714

東 京 営 業 所	〒110-0005	東京都台東区上野二丁目12番20号 (NDKロータスビル) TEL (03) 3833-6321 (代表) FAX (03) 3833-6325
富 士 営 業 所	〒417-0047	静岡県富士市青島町180 (加藤ビル) TEL (0545) 57-3783 (代表) FAX (0545) 57-3784
名 古 屋 営 業 所	〒486-0838	愛知県春日井市弥生町字松本1522番地 (王子テックセンター内) TEL (0568) 89-5771 (代表) FAX (0568) 89-5772
大 阪 営 業 所	〒560-0082	大阪府豊中市新千里東町一丁目5番3号 (千里朝日阪急ビル) TEL (06) 6871-1691 (代表) FAX (06) 6871-1811
産 業 研 究 室	〒424-0053	静岡県静岡市清水区渋川100 (クミアイ化学工業棟内) TEL (054) 348-9010 (代表) FAX (054) 348-9012
福 田 工 場	〒437-1213	静岡県磐田市塩新田432番地の3 TEL (0538) 55-5108 (代表) FAX (0538) 55-5104

連結子会社

良地産業株式会社	所在地	山口県下関市
	資本金	90百万円
	出資比率	100%
	事業内容	緑化関連薬剤・資材の販売及び薬剤散布請負事業
株式会社理研メンテ	所在地	静岡県静岡市
	資本金	30百万円
	出資比率	100%
	事業内容	薬剤散布請負事業及びゴルフ場メンテナンス請負事業
浅田商事株式会社	所在地	東京都台東区
	資本金	22百万円
	出資比率	100%
	事業内容	緑化関連薬剤・資材の販売及び薬剤散布請負事業
イハラ代弁株式会社	所在地	静岡県静岡市
	資本金	12百万円
	出資比率	57.6%
	事業内容	保険代理業及びリース業
三栄商事株式会社	所在地	岐阜県可児市
	資本金	10百万円
	出資比率	100%
	事業内容	緑化関連薬剤・資材の販売及び薬剤散布請負事業

会社概要

商号	株式会社理研グリーン (英文:RIKEN GREEN CO.,LTD)
本社所在地	東京都台東区上野二丁目12番20号 (NDKロータスビル)
創立	昭和32年6月
資本金	1,102,428千円
上場取引所	ジャスダック証券取引所
従業員数	146名
主要な事業内容	緑化関連薬剤・資材の販売 製紙用・産業用薬剤の販売 緑化・造園工事

〔取締役及び監査役〕

地位	氏名	担当または他の法人等の代表状況等
代表取締役 取締役社長	菊島 昭	株式会社理研メンテ 代表取締役社長 三栄商事株式会社 代表取締役会長
常務取締役	宮田 敏宥	農資部、研究開発部担当 浅田商事株式会社 代表取締役社長 三栄商事株式会社 代表取締役社長
取 締 役	小田 高明	農資部長 良地産業株式会社 代表取締役社長
取 締 役	中野 武久	経理部長
取 締 役	竹下 俊彦	本社分室長兼土木緑化部長
取 締 役	川端 啓郎	総務部長
取 締 役	上田 一誠	イハラ建成工業株式会社 代表取締役社長
取 締 役	石原 英助	クミアイ化学工業株式会社 代表取締役専務取締役
常勤監査役	池田 恵一	
監 査 役	今村 寿彦	イハラケミカル工業株式会社 代表取締役専務取締役
監 査 役	高橋 軍治	ケイ・アイ化成株式会社 代表取締役社長
監 査 役	加藤 進	クミアイ化学工業株式会社 特販部長

株式の状況

Stock Information

(平成20年3月31日現在)

株式の状況

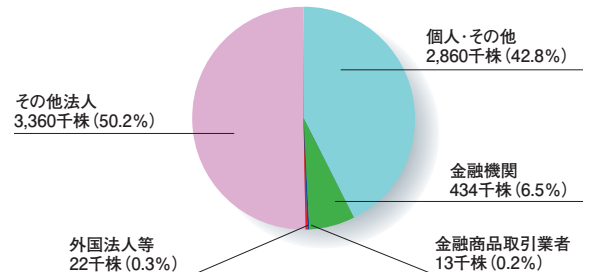
発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式の総数	6,691,300株
株主総数	931名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
クミアイ化学工業株式会社	1,913	28.8
イハラケミカル工業株式会社	466	7.0
イハラ建成工業株式会社	450	6.8
ケイ・アイ化成株式会社	266	4.0
理研グリーン従業員持株会	182	2.8
柴 崎 一 好	134	2.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	133	2.0
共栄火災海上保険株式会社	121	1.8
長 澤 の り	117	1.8
イハラ紙器株式会社	69	1.0

(注) 出資比率は、自己株式(56,330株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については3月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告をする一定の日
配当受領 株主確定日	毎年3月31日及び 中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 各種お問合せ ☎ 0120-232-711 各種手続用紙のご請求 ☎ 0120-244-479 インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場取引所	ジャスダック証券取引所
証券コード	9992
単元株式数	1,000株
公告掲載方法	日本経済新聞

- IR情報を当社ホームページでご覧になれます。
ホームページURL
<http://www.rikengreen.co.jp/>

株券電子化についてのご案内

■「株券電子化」が平成21年1月を実施目標として準備中です。

■ まずご確認ください。

ご自宅、貸金庫などに株券をお持ちではありませんか？
お持ちの場合は、まず、株券の裏側の「株主名」の欄をご覧ください。ご本人名義かどうかを確認してください。

■ ご本人名義でなかったら？

早急に名義書換手続きを行ってください。名義書換をせずに、電子化が実施されると、株主の権利を失う可能性があります。お手続きはお取引証券会社又は左記の株主名簿管理人にご照会ください。

■ お手元の株券をお預けください。

お手元の株券は、お近くの証券会社にお預けください。証券会社を通じて証券保管振替機構に預託しておけば、電子化が実施されても特段の手続きは必要ありません。

■ 株券を預けないとどうなる？

ご本人名義になっていれば、配当金の受取など、株主としての権利は保全されます。
具体的には、当社が開設する特別口座の中で管理することになります。ただし、この口座は株式の売買ができないため、売買をするためには株主様が証券会社に口座を開設し、株式を移す必要があります。

■ 単元未満株式を整理したい場合は？

当社は単元未満株式の買取制度を採用しております。お手持の方法は、左記の株主名簿管理人にご照会ください。
なお、単元未満株式を証券保管振替機構に預託されている株主様は、お取引証券会社にご照会ください。



株式会社 理研グリーン

〒110-0005 東京都台東区上野二丁目12番20号 (NDKロータスビル)

TEL.03 (3833) 6321 (代表) <http://www.rikengreen.co.jp/>



※本紙は再生紙を使用しております。